

○ 学校図書館司書さんの巡回が始まりました。原田登紀子さんです

今年から、新しく木曜日に学校図書館司書の原田登紀子さんが来校されます。学校の図書ボランティアさんと一緒に図書の整理や、子どもたちへの本の貸し出し、読み聞かせ等、読書活動の充実のために丁寧に仕事をして下さいます。また、子どもたちが楽しみにしている移動図書館車の巡回も始まり、子どもたちがいっそう読書に親しみ楽しさを味わってくれるようお願いしています。

5月の行事予定

- 1 5 (日) 家庭読書の日
- 1 6 (月) 委員会⑥
- 1 7 (火) 国際交流員出前講座 4年④
地域給食取材 プール掃除 5-6年⑤⑥
- 1 8 (水) チャレンジタイム お話玉手箱 2年⑤
- 1 9 (木) 食育の日
- 2 0 (金) 移動図書館来訪
- 2 3 (月) 読み聞かせ クラブ⑥
- 2 4 (火) 地区懇談会 (野田)
- 2 5 (水) 元気っ子タイム 全校読書⑤
地区懇談会 (池田・池田団地)
- 2 6 (木) 検尿 2次 口座振替日
4年生やまのこ 地区懇談会 (野尻)
- 2 7 (金) 検尿 2次 地区懇談会 (竜法師)
- 2 8 (土) 学友林・ポット移植作業
- 3 0 (月) 甲南中職場体験(～3日)委員会⑥
- 3 1 (火) 6年修学旅行(～1日)

※行事の詳細は学年通信にてご確認ください。

6月前半の行事予定

- 1 (水) 6年修学旅行 性教育月間
- 2 (木) 金曜時程(午後)下校指導
- 3 (金) 木曜時程(午後) 地区別懇談会(磯尾)
- 4 (土) 学校オープンデー
食育指導 3年② 1年生④
歯磨き指導 2年生③
ひびきあい活動 1-2年生② 3-4年生③
5-6年生④
午後通常授業(全校集団下校 15:10)
- 6 (月) 4日の振替休日
- 7 (火) 校内人権の日
- 8 (水) プール開き②教育相談週間(～19日)
FBCタイム、学校支援委員会
- 9 (木) 体力テスト(予備日:10日)
- 1 3 (月) クラブ⑥
- 1 5 (水) クリーン作戦
- 1 6 (木) 歯科検診
- 1 7 (金) 食育の日
- 1 9 (日) 家庭読書の日

校長室から こんにちは

気づき 考え 行動する

【校報5月号】

【気づきを 子どもの学びにつなぎ 学力を伸ばす】

今年の学校教育目標は、【気づき 考える】ということばを意識して取り組んでいきます。気づきは「ひらめき(直感的思考)」とも言います。学んだことを生活に活かし確かめ、その手応えが学びを確かなものにしていきます。また、生活で気づいたことを、今までに学んだことと結びつけ確かめ考えることも大切です。学ぶことは、全て日常生活の中にあります。

情報は、TVや新聞、インターネット、人からの話など様々なところから入ってきます。「バーチャルリアリティ」といわれるように、自分がそこにいなくても疑似体験ができる「仮想現実」も氾濫しています。体験した気になってしまう。しかし心や身体は体験していない。

小学校低学年の頃は、実体験から考えることが中心で、想像するときも実際に体験したことを手がかりに考えていきます。しかし、学年が上がるにつれ、目の前になくても、そこにあるように想像し考えていくことが求められてきます。具体的なものを手がかりに考えることから、抽象的に考えると言われるものですが、形や数字や量やかさや割合など簡単な記号やイラストだけで頭の中で考えていくようになるのです。そこに到達するまでには、実際の生活で身体や心で行動し考える「体験」が多く蓄積されることが、抽象的に考えていく力になるといわれます。

立体の理解がどのように発達していくかを例にとり考えてみますと、立体を想像することは多くの人が難しいと感じています。しかし、幼児期に遊びを通して、実際の球体や立体を組み合わせていたりして、奥行き、高さ、幅、位置関係、いろいろな立体の形を組み立てる活動で、手の動き、目で見ること、頭の中で組み合わせて試行錯誤することで、立体を考えることが難しいことではなくなってくると言われます。実際、外国の教材は、日常生活の一場面を切りとったような実際の体験から立体を認識するように導いていきます。日常の気づきをそのまま教材にし、考えていくときにギャップをできるだけ少なくしてあります。それと、個人的な気づきが、お互いの手本になり学び合いながら理解を深めていく遊びの場面が多く見られ、これが発達を促す上で重要になります。

本校の目指している授業の進め方、学び方は、個々の気づきをみんなの気づきにして、それが学びの始まりになり、学び合うことで教科の学びを深め、「わかった」をお互いに確かめていく、ということです。子どもたちの「わかる喜び」「学ぶ喜び」が充実していくように取り組んでいきたいと思えます。

ご家庭では、子どもたちが学校で元気いっぱい活動するための力を蓄えるために、今年は「早寝・早起き・朝ごはん」を基本に、気づきの宝庫と言われる「家事分担・お手伝い」にも取り組んで頂き、基本的な生活習慣がしっかり身につきますようご協力をよろしくお願い致します。